

関西大学での BERC 寄附講座に関して

高野 一彦 (BERC 上席研究員、関西大学教授)

1. 学生達は BERC 寄附講座を通じて企業を見る確かな目を養う

関西大学 社会安全学部では毎年、学部生を対象に BERC 寄附講座「企業の社会的責任と消費者教育」を開講しています。この講座は 2013 年に開講し、コロナ禍で企業が出張を制限した 2021～2 年の 2 年間を除き、継続して開講してきました。

毎回、BERC 会員企業の CSR・コンプライアンス部門、リスクマネジメント部門の方にご来校頂き、自社グループの事業や CSR 経営やコンプライアンス活動などについて講演をして頂いています。BERC 寄附講座は学生に人気があり、今年は 241 名が受講しています。社会安全学は 1 学年 290 人程度ですので、いかに多くの学生が履修しているかがわかります。

BERC 寄附講座は 1 回 90 分の講義ですが、登壇者から 70 分程度のご講演を頂き、残り 20 分ほどは質疑応答を行います。学生たちは真剣な眼差しで講演を聴いており、質疑応答では多くの学生が挙手をして質問し、講義が終了すると大きな拍手が起こります。講義終了後は登壇者の周りに学生たちが集まって質問をしています。学生たちが企業の仕事に強い興味を持って参加していることがよくわかります。

社会安全学部は、地震や感染症パンデミックなどの自然災害、組織事故などの社会災害について、安全・安心な社会の創造に寄与することを目標に、損害の最小化と社会的な価値創造を目指して研究・教育を行っています。企業や行政機関で CSR・コンプライアンス、防災・リスクマネジメントなどの仕事を担う人材の輩出を目指していますので、学生たちに BERC 会員企業のみなさまの仕事内容を知ってもらい、興味を持ってもらうことは重要です。同時に、企業で働いている方は、仕事を通じて社会に貢献しようと、真摯に努力しておられることを知ってもらい、良い機会でもあります。

2. BERC 寄附講座の歴史

私は、2010年4月から関西大学 社会安全学部・大学院社会安全研究科で教鞭をとっています。また、BERCでも2010年4月からコンプライアンス担当者のための法令研究会（以下単に「法令研究会」といいます。）を担当しています。

2013年はじめ、法令研究会に参加して下さっている、ある会員企業の方から、「大学でBERCの寄附講座を立上げてはどうか」という旨のご相談を頂きました。2012年12月施行の消費者教育推進法では、消費者教育の推進に関する企業の努力義務が規定されており、BERC会員企業はCSRの一環として取組む意義があるのではないかという主旨でした。

大学には寄附講座があり、寄附者（BERC会員企業）が登壇者の交通費や講師謝礼などを負担して大学で講義を行う、いわゆる「人的寄附」という制度があります。当初は、本当に出張扱いで交通費などを企業が負担して、東京や名古屋から日帰り、わざわざ関西大学まで講義に来て頂けるのか不安だったのですが、初年度は予想に反してBERC会員企業13社が手を挙げてくださいました。涙が出るほど嬉しかったことを記憶しています。

当時、私は副学部長を務めており、カリキュラム改編を担当していましたので、2014年からBERC寄附講座を、卒業単位（2単位）を付与する講義に位置づけたところ、毎年250人前後の学生が履修する人気講座になり、現在に至っています。

3. BERC 寄附講座の効果

関西大学は、伝統的に就職が良い大学だといわれています。しかし、社会安全学部は2010年に新設された学部ですので、他の伝統的な学部に比べて知名度が高いわけではなく、当初は就職の状況が気になりました。しかし、関西大学の他学部に比べて就職率に遜色はなく、大企業就職率は他の伝統的な学部に比べて10%近く高い傾向にあります。（年度によって多少の変動はあります）

ある年の卒業生の就職先一覧を見ると、1割近くの学生がBERC会員企業に就職していました。おそらく寄附講座でBERC会員企業のみなさまのご講演を聴き、優良企業を見分ける確かな目が養われた結果であろうと思います。

学生にとって就職活動は、初めて自ら人生の選択をする重要な機会です。BERC 会員企業のみなさまが、真摯に取り組んでおられる CSR やコンプライアンス、リスクマネジメントについて熱い思いを持ってお話しを頂くことは、学生にとって財産になっているように思います。ご登壇を頂いたみなさまに心からの感謝を申し上げます。

4. ステークホルダーダイアログとして

BERC 寄附講座を長く継続するためには、関西大学までお越し頂く BERC 会員企業のみなさまにとっても何か良いことがあり、少しでも Win-Win の関係に近づく必要があるのではないかと考えています。

そこで、BERC 寄附講座の前の時間に、高野ゼミ公開ゼミを行うこととしました。これは高野ゼミの研究チームがご登壇頂く企業と他社を比較した研究を行った上で、素晴らしい点や新たな提案を行い、BERC 会員企業のみなさまとのディスカッションを行います。これがステークホルダーダイアログの一つとしてご活用頂けるのであれば、少しでもお役に立てるのではないかと考えています。

学生の提案は高度なものとは言い難い観がありますが、地域との連携や若者のニーズからの提案など学生ならではの提案があり、時々「良い提案ですね」などとお褒めの言葉を頂くこともあります。また高野ゼミ以外の学生も傍聴ができる「公開ゼミ」として行っており、傍聴者から思いもよらぬ発言が出ることもあります。

5. 謝辞

このように、関西大学における BERC 寄附講座は、BERC 会員企業のみなさまのご厚意に支えられて継続して参りました。関西大学社会安全学部にご来校頂き、ご講演を頂きました BERC 会員企業のみなさま、そしてこれからご来校頂くみなさまに、本コラムを借りて心からの御礼を申し上げます。どうか今後とも関西大学における BERC 寄附講座をよろしくお願い致します。

また、関西大学高野研究室との共同研究や共創ゼミナールなど、BERC 寄附講座を契機として新たなフェーズに発展することを願っています。

高野 一彦 (BERC 上席研究員、関西大学教授)